



## アベノミクスの功罪

令和6年10月15日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

グローバルスタンダードの受け入れは、既存日本の社会システムの崩壊と転換を与えるものである。

これらがアベノミクスの現実であり、グローバル経済という現実に組み込まれることへ、既存独自社会における経済は、その葛藤と挑戦を行うものである。

これらは明らかに新しい現実と基準における社会の転換と新しい生活と自己という現実への変化である。

これらは若年層において顕著に表れるものである。またグローバル経済における現実はその大きな変化をそのスピードとともに有するものであり、それらを否定して企業は自己を有することは不可能である。

これらは次世代システムと技術への転換が新たな企業製品における基準であり、既存現実には固執することは新しい企業の需要や要求へ適合できないのである。

これらは新しい基準における社会と生活の転換を他方において有するのである。これら変化というキーワードは今日の現実である。

他方においてビジネスを志す若者においては、その限りない可能性を与えるものである。しかし市場における要求は、より優れた現実と能力における要求を与えるのである。

これら既存現実の崩壊と新しい現実への転換は、さらなる未来を有する。これらは技術進歩における新しい未来がその先に存在するのである。

第2の敗戦と失われた30年という現実には内なる社会転換を与え、新たな技術進歩における企業基準への参加を日本企業に対して行うものである。

これらは次世代基準というマグニフィセント7などの有する技術、企業基準における参加を新たに企業へ要求するものである。

